

三方五湖学習

自然再生に関わる環境教育の効果 ～三方中学校の事例調査報告～

平成29年7月31日(月)に、若狭町役場三方庁舎において、三方五湖自然再生協議会環境教育部会による勉強会が開かれました。

勉強会では、東京大学(教養学部・吉田研究室)による三方中学校生を対象に実施したアンケート調査の結果報告がありました。

アンケート調査は、平成29年4月におこなわれ、三方中学校生の自然環境と地域社会に対する価値観や意識、将来像等についての問いかけがされ、「中学生における自然・地域再生への共感度とその要因」と題し三方中学生における「社会と生態系の関係性」等についての考察が発表されました。



自然再生関連会議等開催情報(平成29年度)

- ◆外来生物等対策部会
 - ・4月9日…部会会議
 - ・5月28日、6月11日…外来種駆除イベント
- ◆環境に優しい農法部会
 - ・4月18日、6月20日…部会会議
 - ・6月30日、7月6日・20日・27日…田んぼの生きもの調査
- ◆環境教育部会
 - ・5月10日、6月7日・29日…部会会議
 - ・7月31日…勉強会

三方五湖の自然とめぐみTOPICS

田んぼの生きもの調査(環境に優しい農法部会)



環境に優しい農法部会では、若狭町と美浜町の農業者の方が、ご自分の田んぼでどんな生き物が育っているかを知っていただくために、「田んぼの生き物調査」のお手伝い(調査の実施や調査方法を学ぶ研修会の開催など)をします。ご希望の方は、事務局(福井県海浜自然センター)までご連絡下さい。具体的な進め方は、個別にご相談させていただきます。

問合せ先

- 福井県安全環境部自然環境課
〒910-8580 福井県福井市大手三丁目17番1号
TEL 0776-20-0305
- 美浜町住民環境課
〒919-1192 福井県三方郡美浜町郷市第25号25番地
TEL 0770-32-6703
- 若狭町環境安全課
〔三方庁舎〕
〒919-1333 福井県三方上中郡若狭町中央第1号1番地
TEL 0770-45-9126
- 若狭町歴史文化課縄文環境室
〔若狭三方縄文博物館内〕
〒919-1331 福井県三方上中郡若狭町鳥浜122-12-1
TEL 0770-45-2270

三方五湖のなかまたち

トノサマガエル(アカガエル科)

- ・体長 5~9cm
- ・水田や水路、ため池などに生息し、昆虫やミミズなどを食べる。
- ・背中の真ん中に、黄緑色の線がある。
- ・4~7月に2,000~3,000個の卵を産む。
- ・環境省レッドリストカテゴリ：準絶滅危惧



このニュースレターは「平成29年度生物多様性保全推進交付金(環境省)」を使用しています。

三方五湖 ニュースレター



No. 13

平成29年8月1日発行



気山小学校・かや田の外来種調査

目次

- メダカを救え!、気山小学校外来種調査 1
- 三方小学校生きもの調査、鳥羽小学校生きもの調査 2
- 三方五湖学習、自然再生関連会議開催状況、自然とめぐみTOPICS、三方五湖のなかまたち 3

メダカを救え!

4月28日に、日本野鳥の会福井県とハスプロジェクト推進協議会の協働で、「メダカ救い作戦@久々子湖畔」が実施されました。「メダカ救い作戦」とは、久々子湖畔で進められている田んぼの改良工事現場の水路に生息するメダカを一時的に避難させ、工事完了後に、生息環境が整ったところを見計らって、再度、現地に放流する試みです。



水路でのメダカ探し



捕まえたメダカをみんなで観察



みんなで捕まえたメダカ

今回の救出作戦には、地元の子どもたちと仕事帰りの地域の方が集まり、タモ網を使ってメダカを捕まえました。捕まえたメダカは、参加者がそれぞれ持ち帰り、工事が終わる来春まで育てることにしています。

気山小学校 かや田の外来種調査

若狭町立気山小学校では、今年度、5・6年生の総合的な学習の時間に、“外来種”をテーマに地域の自然について考える取組が進められています。

これまで気山小学校では、校区にある湿地“かや田”において、全校児童による親子自然観察会がおこ



外来種についてのお話

なわれてきました。今年度は、親子自然観察会に加え、かや田の外来種の現状を調べ、地域の貴重な自然を守るために自分たちにできることは何かを考えることが計画されています。

6月2日及び12日には、5・6年生が2班に分かれて、かや田に生育する外来の植物を記録したり、外来種捕獲かごで捕獲された外来種(ウシガエル、ミシシッピアカミミガメ)を観察したりしました。



捕獲した生きものの観察



確認した外来種の記録

三方小学校 田んぼの生きもの調査

若狭町立三方小学校では、校区の方から借りた田んぼにおいて全校児童による“ゆりかご米”づくりと、コイ・フナの卵の水田への導入による稚魚育成が取り組まれています。

今年度は、6年生の総合的な学習の時間に、“地域



ミジンコを小瓶に収集

の自然と生きものとひとのつながり”をテーマに、屋外学習がおこなわれています。

6月13日には、フナの稚魚が泳ぐ“ゆりかご米”田んぼにおいて、田んぼの畦100mあたりに生息するカエルの数を算出するカエル調査をおこないました。この日は、フナの稚魚のエサとなるミジンコも観察し、田んぼが育む生きもの多様さや生きものつながりについて学習しました。



蛙の長さを計測



ミジンコの観察

鳥羽小学校 田んぼの生きもの調査

若狭町立鳥羽小学校では、“鳥羽の豊かな自然を、守り、つなげる鳥羽っ子”を目指して、各学年で鳥羽の自然に親しむ活動が展開されています。

今年度は、5年生の総合的な学習の時間に、“コウノトリをシンボルとした鳥羽の自然”について学習

するため、田んぼの生きもの調査等が取り組まれています。

7月5日には、室内で“田んぼの生きものつながり”についての学習をした後、学校田のカエル調査をし、7月14日には、コウノトリが飛来した田んぼ等でのカエル調査をしました。調査後には、カエルの見分けができるようになったり、カエルが苦手だった子がカエルに触れるようになったりしました。



カエルの見分け方を学習



学校田でのカエル調査



コウノトリが飛来する田んぼでのカエル調査